



に書くな」といわれたのでした。ありがたいことでした。

卒業試験を受けるようになったことを知らせにみえた先生は私のクラスの担任の中島千松先生でした。国語漢文の大家でした。私の寝ている枕元に来られたお姿は今もはっきりおぼえており、まことに感謝に堪えないことです。